

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00473 )

事務事業名称	情報教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	003	整理番号	464
現担当課名	庶務課		係名	学校ICT推進担当係			連絡先電話番号	1608		昨年度整理番号	480			
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 2年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業	03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )							
令和 3年度担当課名	庶務課				事業評価区分				一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小・中・特別支援学校の児童・生徒及び教職員	根拠法令等	( 1 ) 高度情報通信ネットワーク社会形成基本法、新たな情報通信技術戦略 ( 平成22年 ) ( 2 ) 学校におけるICT環境の整備について ( 平成29年文部科学省 )
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	校務のICT活用促進とともに、校内のICT環境整備を進め、日常の授業改善、児童・生徒一人ひとりの課題の解決に向けた個別対応、教員の校務負担の軽減を図る。	活動指標	教職員用パソコンの配備台数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	教職員用の校務パソコンを配備し、校務システムの維持管理を行う。 教育用ICT機器 ( 電子黒板機能付きプロジェクター、液晶電子黒板、教員用タブレット端末、学校図書館用パソコン、児童・生徒用タブレット端末 ) を配備し、教育用システムの維持管理を行う。 学校における情報セキュリティに関する対策を行う。	指標名 ( 1 )	教職員用パソコンの配備台数
		指標名 ( 2 )	教育用パソコン1台当たりの児童・生徒数
		成果指標	教職員用パソコンの配備台数
		指標名 ( 1 )	校務パソコンの配備台数
		指標名 ( 2 )	児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数
		指標説明	児童・生徒の利用を専用としたタブレット端末1台当たりの児童・生徒数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 台	2,283	2,315	2,315	2,393	2,405	2,428	100.5	97.9	
活動指標 ( 2 )	2 人	2.9	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 台	2,283	2,315	2,315	2,393	2,405	2,428	100.5		
成果指標 ( 2 )	4 人	4	3	1	1	1	1	100.0		
事業費	5 千円	1,304,713	2,927,650	2,839,341	2,179,299	2,132,731	2,242,866	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	280,216	614,174	570,527	516,006	479,820	483,009			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	3.00	3.00	3.00	5.00	5.00	5.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	26,154	26,154	25,509	42,515	41,715	41,715		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,330,867	2,953,804	2,864,850	2,221,814	2,174,446	2,284,581			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	582,947	1,275,941	1,237,516	928,464	904,136	940,931			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	821,880	820,378	18,185	18,185	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	358,719	358,719	31,036	31,036	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	1,180,599	1,179,097	49,221	49,221	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	1,330,867	1,773,205	1,685,753	2,172,593	2,125,225	2,284,581			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 464

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	電子黒板システム、タブレット端末賃貸借及び運用保守	64	校	1,041,503
	区立小・中学校、特別支援学校ネットワーク機器賃借及び運用保守	64	校	518,573
	校務パソコン、サーバ等機器の賃貸借及び運用保守	64	校	361,283
	図書館システム使用料、緊急メール配信システム等運用保守	64	校	149,577
	その他（光回線使用料等）			61,795
事業実績	リース契約を満了した機器について、令和3年9月にタブレット端末、令和4年1月に校務パソコンの更新作業をそれぞれ実施しました。また、校内ネットワーク用の無線アクセスポイントを増設し、通信環境を改善するとともに、タブレット端末で個々の習熟度に応じて利用できるA I型学習ドリルを導入して家庭学習機能の充実を図りました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	平成2年度に中学校11校にコンピュータ室を設置しました。平成19年度に学校図書館、電子黒板、及び校務システムを整備し、平成26年度に全普通教室へ電子黒板の設置を完了し、平成29年度に校内無線LAN環境の整備を終えました。令和3年2月に児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備を完了しました。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和3年2月に児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備を完了しましたが、約3万台の維持管理に必要な経費が増えています。クラウドサービスを利用したデジタル教材が普及し始め、高速大容量の通信に対応するネットワーク環境を実現し、いつでもどこでも1人1台専用タブレット端末を利用し、学習できる通信環境を構築することが求められています。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	校務パソコンについては、常勤教員については、1人につき1台を実現しています。また、児童・生徒1人1台専用タブレット端末についても、令和3年2月に、1人につき1台を実現しました。
評価と課題	令和2年度末に全児童・生徒1人1台専用タブレット端末を配備したことから、引き続き現在の運用体制を維持しつつ、今後はタブレット端末を安定的かつ効果的に運用できるよう、杉並区デジタル戦略アドバイザー制度を活用し、通信ネットワーク環境の改善に取り組めます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	児童・生徒1人1台専用に配備したタブレット端末の更新が3年後に想定されており、約3万台のタブレット端末を維持管理する経費の節減やネットワーク通信を構成する機器の見直しによる経費削減を検討し、予算増とならないように努めます。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00797 )

事務事業名称	教職員の研修			款	07	項	01	目	03	事業	013	整理番号	472
現担当課名	済美教育センター		係名	教育指導係			連絡先電話番号	3311-0021		昨年度整理番号	488		
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標	05	施策	27	計画事業	03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )				
令和 3年度担当課名	済美教育センター							事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立学校教員、教育関係者	根拠法令等	( 1 ) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条及び第45条 ( 2 ) 教育公務員特例法第21条及び第22条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教員及び教育関係者が日常的にICTを効果的に活用した指導力を身に付けられるよう、ICTを活用した模範授業の公開や研修などを実施する。	活動指標	ICTを活用した研修等の実施回数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	ICTの効果的な活用について、実践的な知識や技術を学ぶための研修を実施する。 前述の研修を実施するために、済美教育センターのICT環境を整備する。	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明
			ICT活用研修に対する参加・出席教職員の肯定率 肯定率 = 4段階評価で上位2位までの率 ( 研修終了後のアンケートによる )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	12	15	16	20	24	20	120.0	104.5	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	1,021	1,989	1,979	1,986	2,076	3,744	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	220	0	0	0	116	0			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	872	872	1,701	1,701	1,669	1,669		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,893	2,861	3,680	3,687	3,745	5,413			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	157,750	190,733	230,000	184,350	156,042	270,650			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	1,893	2,861	3,680	3,687	3,745	5,413			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 472

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	ICTを活用した研修等の実施	24	回	1,960
	その他 ( 研修用デジタル教科書インストール作業委託 )			116
事業実績	<p>児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員がICTを日常的に活用し、より効果的な授業を展開できるよう、済美教育センターに整備したICT環境を活用し、授業支援ソフトやデジタル教科書、プログラミング教材の活用方法を学ぶ研修を実施しました。また、学校におけるICT活用の普及の中心となる推進者を養成する研修を実施しました。さらに、ICTの活用をテーマにした各校の自主的な研修の支援として、指導主事が講師を務める訪問型の研修も実施しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>令和元年度に済美教育センター内に区立学校と同様のICT環境を整備し、ICTを活用した研修等をセンターにおいて実施することが可能となりました。また、令和4年度から研修用のタブレット端末をこれまでの10台に加え15台増設するための予算を計上し、より多くの参加希望に対応できるようになりました。</p> <p>令和2年度には児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備が終わり、今後はこれらを用いて授業において様々な学習コンテンツを活用し、子どもたちの学びを充実させていく段階となりました。そのため、教員のICT活用指導力を向上するための研修や、研修場所や時間、方法を自ら選択し受講できる研修をより多く設定するため、当該ICT環境を活用しています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に向けて、「学校教育の情報化推進に関する法律」が施行され、「先端技術を活用した学び」等の教育情報化施策が実施されています。そのため、児童・生徒1人1台専用タブレット端末や学びの情報基盤を効果的に活用するため教員に必要な資質・能力、またICTを活用した指導力を着実に身に付けることができるよう、研修内容や実施方法の充実を図っていく必要があります。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>成果指標の(1)のとおり、参加者全員から高評価を得ました。次年度も引き続き、参加者が満足する研修を実施できるよう努めていきます。</p>
評価と課題	<p>ICTを活用した指導力向上に関する研修については、受講者の希望に対応するために、目標を上回る回数を実施しました。研修に対する肯定率は、全ての研修で100%と高い評価を得ることができました。指導主事が講師となる学校訪問型の研修も多くの学校で実施することができましたが、今後は、これまでの済美教育センター主催の研修に加え、各校のICT活用の普及の中心となる教員による校内OJTを充実させます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>引き続き、教員が情報教育の推進や授業改善を図ることができるようにする研修や、ICTを活用した指導力を向上するために必要となる基礎的・実践的な知識や技術を学ぶ研修をはじめ、学校におけるICT活用普及をしていくための推進者の資質、能力を養成するための研修や学校における個々の課題に対する訪問型の研修を実施します。</p> <p>また、研修用のタブレット端末を25台に増設することで、ICTを活用した研修の機会を拡充し、児童・生徒1人1台専用タブレット端末や学びの情報基盤を効果的に活用する教員の資質・能力の更なる向上を図ります。さらに、ICT研修以外の研修にも、ツールの一つとしてタブレット端末を活用し研修内容の充実を図ります。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00487 )

事務事業名称	学校図書館の充実				款	07	項	01	目	03	事業	018	整理番号	477	
現担当課名	教育人事企画課		係名	教育人事係		連絡先電話番号	1654		昨年度整理番号	493					
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標	05	施策	27	計画事業	02							
令和 3年度担当課名	教育人事企画課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小・中学校の児童・生徒	根拠法令等	( 1 ) 杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例 ( 2 ) 学校図書館法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校司書を配置し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みを整備し、学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として機能させ、学校図書館を活用した教育活動を推進する。	活動指標	学校司書配置校数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	学校図書館の運営体制の充実・強化を図るため、区立小・中学校に学校司書を配置する。 学校図書館の蔵書の充実を図る。 学校図書館を活用した教育活動の推進に向け支援を行う。 学校司書の資質向上を図る。	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	学校司書配置校数
		成果指標	学校図書館の年間平均貸出冊数 (児童・生徒一人当たり) (小学校)
		指標名 ( 1 ) 指標説明	学校図書館の年間貸出冊数 ÷ 児童・生徒数
		指標名 ( 2 ) 指標説明	学校図書館の年間平均貸出冊数 (児童・生徒一人当たり) (中学校) 学校図書館の年間貸出冊数 ÷ 児童・生徒数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 校	64	63	63	63	63	63	100.0	85.2
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 冊	45.9	47.0	49.0	48.0	54.1	50.0	112.7	
成果指標 ( 2 )	4 冊	11.6	14.5	12.0	15.0	11.2	15.0	74.7	
事業費	5 千円	4,162	13,994	13,598	3,082	2,626	3,119	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	・コロナ禍のため、学校司書研修の予定講師が来られなくなり、講師側の事情でデジタルでの対応も難しかったため、予算残となりました。 ・また、コロナ禍が影響し、学校図書館訪問のための旅費も予算残となりました。 ・令和元年度に区民から学校図書館の図書購入費を目的とする寄付金があり、令和2年度はそれを財源とした図書の購入を特別に行いました。	
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	2.84	2.40	2.79	2.00	2.27	2.00		
上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	24,759	20,923	23,723	17,006	18,939	16,686		
上記以外の職員	11 千円	3,080	3,080	3,628	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	32,001	37,997	40,949	20,088	21,565	19,805		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	500,016	603,127	649,984	318,857	342,302	314,365		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	10,000	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	10,000	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	22,001	37,997	40,949	20,088	21,565	19,805		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 477

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	学校図書館活用実践校事業の実施	4	校	2,167
	学校司書に対する旅費の支出	56	人	108
	学校図書館研究用図書の購入	46	冊	260
	学校司書研修講師謝礼の支出	2	人	35
	その他 ( 学校図書館支援会計年度任用職員の旅費支出 )			56
事業実績	<p>引き続き区立小中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の蔵書の充実や館内整備を行うとともに、読書活動の推進や授業での学校図書館活用の充実を図りました。学校図書館活用実践校 ( 小学校3校・中学校1校 ) では、校内で管理職を含めた学校図書館運営の組織を立ち上げ、全学年とも多くの教科において、学校図書館の活用が進みました。</p> <p>教員や学校司書を対象とした研修は、著作権や人権、LGBTQ+ など基本的な知識や新しいテーマを取り上げ、学校図書館に関わる教職員の資質向上を図りました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>学校図書館の充実のため、平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小中学校全校に配置しています。済美教育センターの学校図書館支援担当が運営支援を行い、学校図書館の整備・活動・活用を推進してきました。学校図書館の貸出冊数は、学校司書が配置される前と比べて、令和3年度では、小学校は3倍を超え、中学校は6倍近く伸びました。令和3年度末には、蔵書冊数の基準である「学校図書館図書標準」以上の冊数を持つ学校は小・中学校とも、95%以上となりました。蔵書については、毎年蔵書の更新 ( 購入・廃棄・買い替え ) が必要であり、今後も学習に適した蔵書となるよう進めていきます。児童・生徒や保護者、また学校からも、学校司書の継続配置を求められており、学校図書館の充実についても保護者や区民から期待と要望が寄せられています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>学校図書館の3つの機能 ( 児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」、児童・生徒の学習活動を支える「学習センター」・「情報センター」 ) の充実・強化を図るため、今後も小中学校全校に学校司書を配置し、その資質向上のための研修を継続的に実施します。司書教諭研修やその他の教員向け研修では、学校図書館を活用した教育活動や教科等横断的な利用が広がるよう働きかけを行います。</p> <p>また、学校図書館が紙の図書資料とタブレット端末を併用して学習できる環境となったことを生かし、児童・生徒の探究学習の推進や情報活用能力の育成の拠点となるよう、学校図書館支援担当による支援を継続しながら、学校図書館の活用を推進していきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>小中学校全校への学校司書の配置を継続しました。学校図書館の1人当たり年間貸出冊数は、小学校では前年度実績を上回り、中学校では若干下回りましたが、いずれも全国平均 ( 令和2年度文部科学省調査 ) を超えています。計画の目標冊数以上の貸出がある小学校は、令和2年度23校から令和3年度31校へと伸び、中学校では、令和2年度の目標14.5冊から令和3年度の15冊へ目標値が上がった中で、前年度と同数の学校が目標冊数を達成しました。学校図書館を利用する授業の増加や読書月間等での読書イベントや学校司書による本の紹介、朝読書の実施、給食と関連付けた図書紹介など、各学校での読書の啓発が効果を上げました。</p>
評価と課題	<p>学校司書の全校配置から10年が経過し、学校図書館の機能の充実が図られ、活発な読書活動や学校図書館を利用した授業実践が充実してきました。コロナ禍ではありましたが貸出冊数は全国平均を上回り、蔵書冊数の基準「学校図書館図書標準」を全校が達成するまでに小中学校であと3校を残すのみとなりました。今後は、貸出冊数という量だけでなく、小中学生の読書の質の向上を図っていく必要があります。蔵書においても、全校での図書標準達成を前提として、さらに質的な向上を図り、授業での学校図書館活用を進めていきます。児童・生徒が1人1台タブレット端末を持つ中で学校図書館が「学習センター」「情報センター」として、デジタル情報と図書資料との併用を図り、児童・生徒の探究学習の推進や情報活用能力の育成に教科等と連携しながら活動していくことも課題です。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>学校図書館を活用した教育活動の推進を図るため、これまでの成果を踏まえ、引き続き学校司書を小中学校全校に配置し、学校図書館の機能を充実させていきます。学校図書館支援担当は、学校図書館への訪問、司書教諭・学校司書研修等の研修や電話等による日常的な相談を継続していきます。各学校内での学校図書館運営のための校内組織の立ち上げや学校図書館全体計画等の改定を促し、学校全体で活用を進めるとともに、活動の質の向上を目指します。学校図書館活用実践校事業では、学校図書館で、デジタル資料と紙資料の併用で授業を行うモデル実施を支援し、その取組を研修等で全校に共有します。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00493 )

事務事業名称	小学校の維持管理	款	07	項	02	目	01	事業	002	整理番号	483	
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設整備係				連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	500		
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分	既定事業				
事業開始												
令和 3年度担当課名	学校整備課						事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小学校・特別支援学校の児童・生徒及び施設設備	根拠法令等	( 1 ) 学校教育法第5条 ( 2 ) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。	活動指標	区立小学校・特別支援学校数
		指標名 ( 1 )	予算の算定根拠
		指標説明	機械警備実施校数
		指標名 ( 2 )	予算の算定根拠
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	機械警備や昇降機等が導入されている小学校について、それらの設備の保守管理を実施する。	指標説明	予算の算定根拠
		成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 校	42	41	41	41	41	41	100.0	94.5	
活動指標 ( 2 )	2 校	40	40	40	40	40	41	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	108,537	118,396	111,354	124,346	117,559	122,991	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	77,547	85,425	78,487	91,017	84,232	89,668			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	49.73	45.70	44.87	41.90	40.93	36.70		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	378,686	338,911	330,732	309,181	297,141	265,266		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	368		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	487,223	457,307	442,086	433,527	414,700	388,625			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	11,600,548	11,153,829	10,782,585	10,573,829	10,114,634	9,478,659			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (12-18)	19 千円	487,223	457,307	442,086	433,527	414,700	388,625		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 483

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	機械警備業務委託		40	校
	機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	9	校	16,439
	昇降機保守点検業務委託	12	校	14,407
	施設保全法定点検業務委託	41	校	10,667
	その他（設備の保守委託）			53,552
事業実績	機械警備や機器の保守点検を実施し、学校施設の安全安心の確保に努めました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	学校警備職員の退職にあわせて、専門事業者への委託を推進し機械警備化を進めています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	施設の維持管理は、学校の安全安心の確保に重要であり、引き続き保守点検等を実施する必要があります。	



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00500 )

事務事業名称	小学校の施設整備	款	07	項	02	目	03	事業	001	整理番号	488	
現担当課名	営繕課	係名	営繕係			連絡先電話番号	1564		昨年度整理番号	505		
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実					予算事業区分	投資事業					
事業開始												
令和 3年度担当課名	営繕課					事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小学校の児童・教職員及び学校施設利用者	根拠法令等	( 1 ) 学校教育法第 5 条、地方自治法第180条の 2 ( 2 ) 杉並区工事施工規程、学校施設の計画保全に関する処理要領
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	小学校の諸施設・設備について、適切に維持保全するとともに、教育環境の充実を図っていく。	活動指標	改修工事実施校数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	小学校の校舎外壁補修、便所及び照明設備などの改修を計画的に実施する。	成果指標	改修工事実施割合
		指標名 ( 1 )	実施校数 ÷ 計画校数
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件 (校)	13	11	11	13	13	13	100.0	96.1	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	697,227	353,620	280,522	637,407	612,743	512,755	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	697,227	353,620	280,522	637,407	612,743	512,755			
(内) 委託費	7 千円	696,343	352,720	279,720	636,507	612,055	511,855			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	8.31	8.00	8.84	8.12	9.21	7.60		
	上記以外の職員	9 人	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	69,873	67,212	72,974	66,888	74,810	60,532		
	上記以外の職員	11 千円	770	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	767,870	420,832	353,496	704,295	687,553	573,287			
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	59,066,923	38,257,455	32,136,000	54,176,538	52,888,692	44,099,000			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	39,241	37,769	10,315	37,211	53,718	9,203		
	都からの補助金等	16 千円	25,976	24,435	14,991	30,614	29,618	11,627		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	65,217	62,204	25,306	67,825	83,336	20,830		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	702,653	358,628	328,190	636,470	604,217	552,457			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 488

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	杉並第十小学校給食室改修その他工事			130,350
	高井戸第三小学校校舎外壁補修工事			96,140
	西田小学校便所改修工事			67,939
	西田小学校防火シャッター改修工事			41,965
	その他（八成小学校受変電設備取替工事ほか）			276,349
事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎外壁補修工事、便所改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。</p> <p>今後も、学校の改築時期や施設の老朽状況・耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>（環境の変化）</p> <p>学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。</p> <p>（意見）</p> <p>学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つなどの指摘を受けております。また使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、校庭の土埃対策や雨水対策などとともに、各工事における車両などの安全対策、騒音・振動対策などが求められています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後、建物は築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図りつつ、最適な学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>当初予定していた学校諸施設の整備工事を全て履行することができました。これにより施設の機能や教育環境の維持・向上に寄与できました。</p>
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、状況に適した学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改善における費用対効果等を見据えつつ、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図り無駄のない施設整備に取り組んでいきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立学校施設整備計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00503 )

事務事業名称	小学校空調設備整備			款	07	項	02	目	03	事業	007	整理番号	489
現担当課名	学校整備課		係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	506		
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実							予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成22年度							主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 3年度担当課名	学校整備課						事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小学校の児童及び施設設備	根拠法令等	( 1 ) 学校教育法第5条 ( 2 ) 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	教育環境改善のために教室及び屋内運動場に空調設備を整備する。	活動指標	活動指標 ( 1 ) 空調設備設置校数 ( 特別教室 累計 ) 活動指標 ( 2 ) 空調設備整備設置校数 ( 屋内運動場 )
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区立小学校の教室及び屋内運動場に空調設備を整備する。	指標説明	指標説明 ( 1 ) 空調設備設置率 指標説明 ( 2 ) 空調設備設置小学校数 ÷ 小学校数 ( H25・26・27理科室、H28・29・30工区・家庭科室 )
		成果指標	成果指標 ( 1 ) 空調設備設置率 成果指標 ( 2 ) 空調設備設置小学校数 ÷ 小学校数 ( R元・2・3屋内運動場 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 校	40	40	40	40	40	40	100.0	90.7
活動指標 ( 2 )	2 校	13	11	11	12	13	0	108.3	
成果指標 ( 1 )	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0	
成果指標 ( 2 )	4 %	36	67	67	100	100	100	100.0	
事業費	5 千円	96,962	52,092	44,594	118,530	107,480	142,584	特記事項 屋内運動場の空調設備について、設置工事、賃借ともに校数増となったため、事業費増となりました。	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
( 内 ) 委託費	7 千円	95,286	33,887	27,799	90,000	81,849	111,000		
職員数	8 人	0.47	0.60	0.64	0.60	0.64	0.60		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10		
人件費	10 千円	4,097	4,387	4,651	4,383	4,595	4,329		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	368		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	101,059	56,479	49,245	122,913	112,075	147,281		
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	2,526,475	1,411,975	1,231,125	3,072,825	2,801,875	3,682,025		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	15 千円	0	5,303	0	20,491	27,819	21,429		
都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	12,501		
その他の補助金等	17 千円	52,031	13,310	13,108	34,572	15,013	0		
特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	52,031	18,613	13,108	55,063	42,832	33,930		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	49,028	37,866	36,137	67,850	69,243	113,351		
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 489

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	屋内運動場空調設備設置工事	4	校	81,849
屋内運動場空調設備賃借	28	校	25,631	
	その他（ ）			
事業実績	<p>高井戸小学校ほか3校の屋内運動場に空調設備を設置しました。 また、杉並第二小学校ほか8校の屋内運動場に、賃借により空調設備を整備しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>教育環境を改善し、学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善・充実させるため、平成26年度に理科室、平成28・29・30年度に家庭科室と図工室に空調設備を設置しました。 また、令和元年度から屋内運動場への空調設備設置等整備を始め、令和3年度に完了しました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>普通教室と特別教室、屋内運動場の空調設備整備は完了しましたが、学習環境改善のため、少人数教室などにも、空調設備設置が求められています。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>屋内運動場の空調設備整備について、計画どおり確実に目標を達成しており、令和3年度で整備完了しました。</p>
評価と課題	<p>普通教室と特別教室に空調設備を設置することにより、学習環境の改善を図りました。屋内運動場についても、令和3年度に小中学校全校への整備完了しました。 今後は、空調設備未設置の少人数教室などへの整備を進めます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>小学校PTA連合協議会等の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への整備を進めます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00760 )

事務事業名称	富士見丘小・中学校の改築				款	07	項	02	目	03	事業	013	整理番号	490	
現担当課名	学校整備課		係名	教育施設計画係		連絡先電話番号	1698		昨年度整理番号	509					
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標	05	施策	27	計画事業	01	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 3年度担当課名	学校整備課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	「総合計画・実行計画」に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	設計進捗率 ( 平成30～令和2年度 ) 工事進捗率 ( 令和3年度～ ) 工事進捗率は富士見丘小学校・中学校全体の工事の進捗率 改築検討懇談会開催回数 ( 累積 )
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	平成30年度 改築検討懇談会設置・運営 令和元年度 改築検討懇談会運営 令和2年度 実施設計 令和3年度～ 小学校新校舎建設工事 令和5年度～ 中学校新校舎建設工事	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 %	30	100	100	10	5	29	50.0	99.6	
活動指標 ( 2 )	2 回	11	11	11	11	11	11	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	60,436	4,380,049	4,377,246	1,073,345	1,069,070	688,687	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	1,093,345	860,824	653,885	・令和3年度は小学校建設工事のため経費が大きくなりましたが、小学校移転用地の一般会計買戻しを行った令和2年度に対しては減となっています。 ・工事費及び工事監理費で令和5年度まで3,159百万円の債務負担を設定しています。		
( 内 ) 委託費	7 千円	60,208	92,922	90,255	1,072,501	1,068,533	688,237			
職員数	8 人	1.24	0.75	0.68	1.27	0.99	1.88			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円	10,810	6,539	5,782	10,799	8,260	15,685			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	71,246	4,386,588	4,383,028	1,084,144	1,077,330	704,372			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	2,374,867	43,865,880	43,830,280	108,414,400	215,466,000	24,288,690			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	108,552	154,210			109,609
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	108,552	154,210	109,609		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	71,246	4,386,588	4,383,028	975,592	923,120	594,763			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 490

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	富士見丘小学校移転改築及び併設 1 施設建設建築等工事			
	富士見丘小学校移転用地における埋蔵文化財発掘調査委託			183,370
	富士見丘小学校移転改築及び併設 1 施設建設工事に伴う工事監理業務委託			24,320
	その他（建設事務費等）			556
事業実績	令和2年度にとりまとめた実施設計に続いて、小学校移転用地の埋蔵文化財現地調査を終え、小学校新校舎の建設工事に着手することができました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	改築基本計画の策定及び基本・実施設計の進捗に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	富士見丘小学校の最も古い校舎は築55年となり、さらなる老朽化が進む中、改築を着実に進めていく必要があります。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	埋蔵文化財調査が必要となったため、工事着工が数か月遅れましたが、令和5年9月の小学校新校舎開校に向けて工事の着実な進捗に取り組みます。
評価と課題	小学校移転用地について、本格的な埋蔵文化財調査が必要となったため、工事の着工が遅れましたが、着工時には近隣説明を行うなど近隣の声にも丁寧に対応し、概ね順調に工事が進捗しています。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和5年度は3か年工事の最終年として工事費が必要なほか、新校舎開校に伴う初度調弁や落成式費用などが必要です。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00791 )

事務事業名称	杉並第二小学校の改築				款	07	項	02	目	03	事業	014	整理番号	491	
現担当課名	学校整備課		係名	教育施設計画係		連絡先電話番号	1697		昨年度整理番号	510					
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実								予算事業区分	投資事業					
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標	05	施策	27	計画事業	01	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 3年度担当課名	学校整備課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	杉並第二小学校の児童、教職員及び学校関係者		根拠法令等	( 1 )	学校教育法第5条
				( 2 )	地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	「総合計画・実行計画」に基づき、令和元年に築59年を迎えた杉並第二小学校の改築事業を図る。		活動指標	指標名 ( 1 )	設計進捗率
				指標説明	改築に係る設計進捗状況 ( 基本設計30%・実施設計70% )
				指標名 ( 2 )	改築検討懇談会開催回数 ( 累積 )
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )			指標説明		
令和元年度	改築検討懇談会設置・運営		成果指標		
令和2年度	基本設計 実施設計 仮設校舎建設		指標名 ( 1 )		
令和3～5年度	新校舎建設工事		指標説明		
令和6～7年度	環境整備工事		指標名 ( 2 )		
			指標説明		

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度		
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 ( 1 )	1	%	30	100	80	100	100	0	100.0	96.0	
活動指標 ( 2 )	2	回	9	9	9	9	9	0	100.0		
成果指標 ( 1 )	3										
成果指標 ( 2 )	4										
事業費	5	千円	58,527	126,193	101,778	991,509	952,262	648,504	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	令和3年度より建設工事が始まったため、事業費が増加しました。		
( 内 ) 委託費	7	千円	57,898	124,961	101,176	940,364	901,459	580,201			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8	人	2.26	1.50	1.60	1.75	2.11	1.75		
	上記以外の職員	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10	千円	19,703	13,077	13,605	14,880	17,604	14,600		
	上記以外の職員	11	千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12	千円	78,230	139,270	115,383	1,006,389	969,866	663,104			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13	円	2,607,667	1,392,700	1,442,288	10,063,890	9,698,660	0			
財源	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19	千円	78,230	139,270	115,383	1,006,389	969,866	663,104			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 491

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	仮設校舎賃貸借	9	月	50,490
	改築関係工事（建設工事、解体、その他工事）			764,963
	実施設計・工事監理委託			131,145
	その他（代替運動措置、備品搬出等）			5,664

事業実績

仮設校舎の建設とプール・特別教室棟等の解体工事が終了しました。  
令和3年12月に新校舎建設工事の契約締結をするとともに、同月に近隣住民の方に工事説明会を実施した後、新校舎建設工事に着手しました。  
また、仮設校舎の完成を受け、既存北校舎・体育館と併せた学校運営を行いました。体育の授業については、善福寺川緑地野球場や東田中学校を代替運動場として使用するなど、児童の教育環境確保を図りました。

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。これらの取組により、現在は、工事中の教育環境や建設工事の進め方について、保護者や近隣住民の理解、協力が得られています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和5年11月末に新校舎が竣工する予定です。 令和6年1月から仮設校舎及び既存北校舎・体育館の解体を始めます。令和6年度から令和7年度にかけて実施する校庭・外構等の環境整備工事の完了を持って本改築事業は終了となります。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	プール・特別教室棟解体工事で、地中障害物があったため、工期の延長を行いました。年度末までに新校舎の建設工事に着手することが出来ました。引き続き、実施設計を基に新校舎の建設工事を着実に進めます。
評価と課題	仮設校舎建設やプール・特別教室棟の解体工事については、工程・工法の工夫に努めることで、児童の教育環境、近隣住民の生活環境に可能な限り配慮を行い、工事を終了するとともに、新校舎の建設工事にも着手することができました。 今後とも、保護者や近隣住民等に対する情報提供や要望把握を適時適切に行い、新校舎建設工事を着実に進めていきます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	昨年度に引き続き、実施設計を基に、校舎改築工事を着実に進めていきます。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00507 )

事務事業名称	中学校の維持管理	款	07	項	03	目	01	事業	002	整理番号	493
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設整備係				連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	512
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分	既定事業			
事業開始											
令和 3年度担当課名	学校整備課						事業評価区分	施設維持管理			

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立中学校の生徒及び施設設備	根拠法令等	( 1 ) 学校教育法第5条 ( 2 ) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。	活動指標	区立中学校数
		指標名 ( 1 )	予算の算定根拠
		指標説明	機械警備実施校数
		指標名 ( 2 )	予算の算定根拠
		指標説明	予算の算定根拠
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	機械警備や昇降機等が導入されている中学校について、それらの設備の保守管理を実施する。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 校	23	23	23	23	23	23	100.0	95.0	
活動指標 ( 2 )	2 校	22	22	22	22	22	22	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	41,864	44,004	40,843	47,130	44,790	79,189	特記事項 今年度新たに借地する予定の土地の借地権利金や借地料などにより、事業費増となりました。		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	41,840	43,691	40,637	47,103	44,766	50,284			
職員数	8 人	31.53	32.60	32.71	25.70	25.72	27.60			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10			
人件費	10 千円	220,019	220,485	223,777	178,623	177,008	182,581			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	368			
総事業費 (5+10+11)	12 千円	261,883	264,489	264,620	225,753	221,798	262,138			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	11,386,217	11,499,522	11,505,217	9,815,348	9,643,391	11,397,304			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	261,883	264,489	264,620	225,753	221,798	262,138			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 493

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	機械警備業務委託		22	校
	機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	4	校	7,271
	昇降機保守点検業務委託	10	校	9,951
	施設保全法定点検業務委託	23	校	6,317
	その他（設備の保守委託）			6,414
事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守委託を実施し、学校施設の安全・安心の確保に努めました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	学校警備職員の退職にあわせて、専門事業者への委託を推進し機械警備化を進めています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	施設の維持管理は、学校の安全安心の確保に重要であり、引き続き保守点検等を実施する必要があります。	



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00513 )

事務事業名称	中学校の施設整備	款	07	項	03	目	03	事業	001	整理番号	498	
現担当課名	営繕課	係名	営繕係			連絡先電話番号	1564		昨年度整理番号	517		
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実					予算事業区分	投資事業					
事業開始												
令和 3年度担当課名	営繕課					事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	根拠法令等	( 1 ) 学校教育法第5条、地方自治法第180条の2 ( 2 ) 杉並区工事施工規程、学校施設の計画保全に関する処理要領
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	中学校の諸施設・設備について適切に維持保全するとともに、教育環境の充実を図っていく。	活動指標	改修工事実施校数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	中学校の校舎屋上防水、便所及び照明設備などの改修を計画的に実施する。	指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		成果指標	改修工事実施割合
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	実施校数 ÷ 計画校数
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件 (校)	8	9	9	5	5	8	100.0	90.2	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	335,231	395,216	375,458	189,782	171,169	318,944	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	335,231	395,216	375,458	189,782	171,169	318,944			
(内) 委託費	7 千円	335,231	395,216	375,458	189,782	171,169	318,944			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	4.04	3.90	4.31	3.96	4.50	5.90		
	上記以外の職員	9 人	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	33,954	32,734	35,569	32,593	36,529	47,364		
	上記以外の職員	11 千円	400	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	369,585	427,950	411,027	222,375	207,698	366,308			
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	46,198,125	47,550,000	45,669,667	44,475,000	41,539,600	45,788,500			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	18,999	36,526	34,237	2,967	7,101	18,045		
	都からの補助金等	16 千円	14,633	25,757	24,734	5,800	4,026	21,058		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	33,632	62,283	58,971	8,767	11,127	39,103		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	335,953	365,667	352,056	213,608	196,571	327,205			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 498

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	和田中学校屋上プール改修工事			40,150
	高井戸中学校及び併設 1 施設屋上防水改修その他工事			33,553
	和田中学校幹線設備取替工事			26,556
	高南中学校幹線設備取替工事			23,136
	その他 ( 井荻中学校防火シャッター改修工事ほか )			47,774
事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水工事、プール改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。</p> <p>今後も、学校の改築時期や施設の老朽状況・耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>( 環境の変化 )</p> <p>学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。</p> <p>( 意見 )</p> <p>学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つなどの指摘を受けております。また使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、校庭の土埃対策や雨水対策などとともに、各工事における車両などの安全対策、騒音・振動対策などが求められています。</p>
事業の今後 ( 3 ~ 5 年 ) の予測と方向性	<p>今後、建物は築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図りつつ、最適な学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>当初予定していた学校諸施設の整備工事を全て履行することができました。これにより施設の機能や教育環境の維持・向上に寄与できました。</p>
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、状況に適した学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改善における費用対効果等を見据えつつ、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図り無駄のない施設整備に取り組んでいきます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立学校施設整備計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00668 )

事務事業名称	中学校空調設備整備			款	07	項	03	目	03	事業	005	整理番号	499
現担当課名	学校整備課		係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	518		
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実							予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成22年度							主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 3年度担当課名	学校整備課							事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立中学校の生徒及び施設設備	根拠法令等	( 1 ) 学校教育法第5条 ( 2 ) 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	教育環境改善のために教室及び屋内運動場に空調設備を整備する。	活動指標	指標名 ( 1 ) 空調設備設置校数 ( 特別教室 累計 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 空調設備設置校数 ( 屋内運動場 ) 指標説明
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区立中学校の教室及び屋内運動場に空調設備を整備する。	成果指標	指標名 ( 1 ) 空調設備設置率 指標説明 空調設備設置中学校数 ÷ 中学校数 ( H26・27理科室、H28～30家庭科室、R元・2美術・技術科室 ) 指標名 ( 2 ) 空調設備設置率 指標説明 空調設備設置中学校数 ÷ 中学校数 ( R元・2・3屋内運動場 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 校	7	23	23	23	23	23	100.0	87.5	
活動指標 ( 2 )	2 校	6	9	9	6	6	0	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 %	79	100	100	100	100	100	100.0		
成果指標 ( 2 )	4 %	29	71	71	100	100	100	100.0		
事業費	5 千円	172,203	297,013	267,164	48,096	42,094	92,892	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和2年度で、特別教室空調整備が完了したため、事業量減となり、事業費も減となりました。		
( 内 ) 委託費	7 千円	171,415	288,506	259,130	34,000	30,361	79,000	空調設備設置工事の落札率が89%であったため、執行残となりました。		
職員数	8 人	0.47	0.60	0.65	0.60	0.64	0.60			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10			
人件費	10 千円	4,097	4,387	4,736	4,383	4,595	4,329			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	368			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	176,300	301,400	271,900	52,479	46,689	97,589			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	25,185,714	13,104,348	11,821,739	2,281,696	2,029,957	4,243,000			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			
	国からの補助金等	15 千円	0	44,325	25,292	9,753	24,119	15,715		
	都からの補助金等	16 千円	14,530	50,299	36,019	0	0	9,167		
	その他の補助金等	17 千円	50,652	45,811	50,455	5,874	4,880	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	65,182	140,435	111,766	15,627	28,999	24,882		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	111,118	160,965	160,134	36,852	17,690	72,707			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 499

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	屋内運動場空調設備設置工事	1	校	30,361
屋内運動場空調設備賃借	13	校	11,733	
	その他（ ）			
事業実績	<p>井荻中学校の屋内運動場に空調設備を設置しました。 また、高南中学校ほか4校の屋内運動場に、賃借により空調設備を整備しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>教育環境を改善し、学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善・充実させるため、平成26・27年度に理科室、平成28・29・30年度に家庭科室、令和元年度には美術室に設置しました。 また、令和元年度から屋内運動場への空調設備設置等整備を、令和3年度に完了しました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>普通教室と特別教室、屋内運動場の空調設備整備は完了しましたが、学習環境改善のため、少人数教室などにも空調設備整備が求められています。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>特別教室及び屋内運動場の空調設備整備について、計画どおり確実に目標を達成しており、令和3年度で整備完了しました。</p>
評価と課題	<p>普通教室と特別教室に空調設備を設置することにより、学習環境の改善を図りました。屋内運動場については、改築計画中の学校を除き、令和3年度に小中学校全校への整備完了しました。 今後は、空調設備未設置の少人数教室等への整備を進めます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>中学校PTA協議会等の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への整備を進めます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00756 )

事務事業名称	富士見丘小・中学校の改築				款	07	項	03	目	03	事業	008	整理番号	500	
現担当課名	学校整備課		係名	教育施設計画係		連絡先電話番号	1698		昨年度整理番号	520					
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標	05	施策	27	計画事業	01	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 3年度担当課名	学校整備課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	「総合計画・実行計画」に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	設計進捗率 ( 平成30～令和2年度 ) 工事進捗率 ( 令和3年度～ ) 改築検討懇談会開催回数 ( 累計 )
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	平成30年度 改築検討懇談会設置・運営 令和元年度 改築検討懇談会運営 令和2年度 実施設計 令和3年度～ 小学校新校舎建設工事 令和5年度～ 中学校新校舎建設工事	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 %	30	100	100	10	0	0	0.0	67.1	
活動指標 ( 2 )	2 回	11	11	11	11	11	11	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	60,456	99,934	97,132	10,073	6,759	3,168	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	・令和2年度までで実施設計が完了したため、事業費の減となりました。 ・耐力度調査の契約落差等によって執行率が低くなっています。		
( 内 ) 委託費	7 千円	60,240	99,525	96,755	9,229	6,178	3,018			
職員数	8 人	1.24	0.75	0.68	1.27	0.99	0.47			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円	10,810	6,539	5,782	10,799	8,260	3,921			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	71,266	106,473	102,914	20,872	15,019	7,089			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	2,375,533	1,064,730	1,029,140	2,087,200	0	0			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	71,266	106,473	102,914	20,872	15,019	7,089			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 500

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	富士見丘中学校における埋蔵文化財確認調査の支援委託			
	富士見丘中学校耐力度調査業務委託			2,145
	その他 ( 建設事務費等 )			599
事業実績	令和5年度からを予定する中学校校舎改築工事に先立って、埋蔵文化財調査 ( 試掘 ) や耐力度調査などを実施することができました。			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	改築基本計画の策定及び基本・実施設計の進捗に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	富士見丘中学校の最も古い校舎は築49年となり、さらなる老朽化が進む中、改築を着実に進めていく必要があります。
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	実行計画のとおり、令和元年度・2年度の2か年で基本設計及び実施設計を完了しました。また、令和5年度からを予定する中学校新校舎の建設工事に向けて、必要な調査等を実施することができました。
評価と課題	中学校については、一体的に整備する小学校棟の建設後に、令和5年度から建設工事に着手することとなりました。令和3年度は、そのために必要な埋蔵文化財調査や耐力度調査等を実施することができました。

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	令和5年度は、中学校の解体工事及び建設工事に着手します。また、改築期間中、旧富士見丘小学校校舎に仮移転するため、校舎改修や移転経費が必要となります。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00820 )

事務事業名称	中瀬中学校の改築				款	07	項	03	目	03	事業	009	整理番号	501	
現担当課名	学校整備課		係名	教育施設計画係		連絡先電話番号	1683		昨年度整理番号	521					
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実								予算事業区分	投資事業					
事業開始	令和 2年度	実行計画事業	目標	05	施策	27	計画事業	01	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 3年度担当課名	学校整備課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	中瀬中学校の生徒、教職員及び学校関係者	根拠法令等	( 1 ) 学校教育法第5条 ( 2 ) 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	「総合計画・実行計画」に基づき、令和 2 年に築60年を迎えた中瀬中学校の改築事業を図る。	活動指標	設計進捗率
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	改築検討懇談会開催数
		指標説明	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	令和2～3年度 改築検討懇談会設置・運営 基本設計 令和3～4年度 実施設計 令和4年度 仮設校舎建設 令和5～7年度 新校舎建設工事 令和7～8年度 環境整備工事	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 %		30	20	70	40	0	57.1	58.9
活動指標 ( 2 )	2 回		9	7	2	2	0	100.0	
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円		78,672	4,169	112,280	66,171	232,199	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円		0	0	0	0	0	実施設計委託費を事業者の前払金辞退により、令和4年度に繰り越したことなどにより予算執行率が90%未満となりました。	
( 内 ) 委託費	7 千円		77,758	3,656	111,236	65,574	194,441		
職員数	8 人		0.00	3.49	2.75	2.69	2.75		
上記以外の職員	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円		0	29,675	23,383	22,443	22,943		
上記以外の職員	11 千円		0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円		78,672	33,844	135,663	88,614	255,142		
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円		2,622,400	1,692,200	1,938,043	2,215,350	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円		78,672	33,844	135,663	88,614	255,142		
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 501

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	基本設計			
地盤調査				9,229
改築検討懇談会の開催		2	回	170
	その他（耐力度調査、土壌汚染状況調査等）			10,532
事業実績	令和2年度から引き続き改築検討懇談会を完了しました。懇談会の意見を踏まえた「改築基本設計まとめ」を作成した上で、基本設計を完了しました。また、建設工事に向けた各種事前調査を実施しました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	改築検討懇談会が、学校の休校や緊急事態宣言により開始が遅れたため、基本設計は令和2年度末完了予定から延期して、令和3年7月完了としました。懇談会では、改築基本方針や校舎配置計画、平面計画について活発な意見交換を行い、納得をいただいて完了しました。また、改築ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、学校、保護者、地域からは特に反対意見などはなく、理解協力を得て進めています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	新校舎の建設や既存校舎の解体等の工事期間を経て、新校舎が完成する段階となります。学校や保護者、近隣住民には、改築事業について一層ご理解いただくよう、丁寧な対応を行うとともに、工事が与える生徒や近隣住民への配慮を行う必要があります。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	改築検討懇談会の開始が遅れたことから、基本設計の完了予定が遅れたものの、令和3年度には完了し、地域への説明会を実施するとともに、実施設計を進めました。引き続き実施設計の完了に向けて進めるとともに、新校舎の建設に向けて、仮設校舎の建設、既存校舎の解体工事等を行っていきます。
評価と課題	改築検討懇談会について、令和2年度から引き続き開催し、改築基本方針や校舎配置、平面計画について納得をいただいて完了しました。懇談会の意見を踏まえて基本設計を策定し、実施設計を進めるとともに、改築ニュースの発行や説明会の開催などにより、近隣や保護者に周知を計りました。今後は、教育環境の充実や近隣への配慮事項を実施設計の中で、いかに具体化するかを検討するとともに、工事期間中の生徒や近隣住民への配慮を検討していきます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和5年度は、前年度末からの既存校舎の解体工事を完了した上で、実施設計を基に、新校舎の建設工事に着手します。	